

甲状腺検査

甲状腺検査 本格検査（30歳時の節目の検査）の結果

最新の調査結果：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocysa-kentoiinkai.html> へ

●一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳 (割合 (%))			
					A		二次検査対象者	
					A 1	A 2	B	C
合計	44,489	2,221(5.0)	609	1,624 (73.1)	720(44.3)	761(46.9)	143(8.8)	0 (0.0)

●二次検査結果

A判定：91.2%

	対象者数 (人)	受診者数 (人) 受診率 (%)	確定率 (%)	結果確定数 (人)			
				次回検査		通常診療等	
				A 1	A 2	うち細胞診受診者	
合計	139	118(84.9)	111(94.1)	1(0.9)	7(6.3)	103(92.8)	16(15.5)

※小数点第一位で示されている割合は、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

●細胞診結果

悪性・悪性疑い 6人 男性：女性 0人：6人
 平均年齢 29.8±0.4歳（29-30歳）、震災当時18.0±0.0歳（18-18歳）
 平均腫瘍径 12.1±3.4mm（9.8-18.6mm）

●悪性・悪性疑い6人のうち、手術実施4人（乳頭癌4人）

第52回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

本格検査（検査5回目）の実施期間中から（2020年度から）、本格検査の一部として、30歳になる年度に実施する検査を開始し、一次検査および二次検査はこれまで実施した1992年度生まれの対象者に対する検査の結果を示します。

一次検査でA判定は全体の91.2%、B判定は8.8%、A 2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、という傾向はこれまでの結果と同様でしたが、対象者の年齢がさらに高いため、B判定率および結節の発見率は本格検査（25歳時の節目の検査）と比較して高くなっていました。

二次検査では、穿刺吸引細胞診の結果、6人の方が悪性ないし悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：2024年3月31日

改訂日：2025年3月31日